



土俵ノ外、人ト争ハズ

校長 林 なおみ

今から82年前（1941年），大相撲に新潟県として初めての横綱 羽黒山が誕生しました。羽黒山は，中之口の出身です。羽黒山は，子どものころから目標をもち，努力を続ける人でありました。そして，心の優しい友達思いの子どもでした。羽黒山の子ども時代の友人が，次のように話しています。

羽黒山は，友達を大切にし，友達が困っているときは，いつも味方になり助けていました。ある時，近所の下級生がとなり村の上級生数人にいじめられて，泣きながら帰ってきました。そのことを知った羽黒山は大いに憤慨して，一人でとなり村へ行きました。そして，集まっていた相手と談判し，戦わずして彼らを降参させると，代表一人を連れてきて，二度といじめをしないことを約束して，仲直りをさせました。

羽黒山は横綱になり活躍した後，立浪親方として後進の育成に力を尽くしましたが，54才の若さで逝去されました。目標をもち努力すること，人に優しくあることを貫いた生涯でした。

弥彦駅前前の弥彦公園に，羽黒山の功績を称える碑があります。羽黒山を愛し，尊敬する人々が協力して建てたそうです。その碑に，羽黒山の生き方を表す言葉が刻まれています。

「土俵ノ外、人ト争ハズ」

相撲では正々堂々，全力で戦うが，土俵の外では人と争うことなく円満であれという心構えです。この碑文には，子ども時代の，談判して相手の不正を正させたという逸話そのままに，自らの信念を生き抜いた大横綱の姿が表れています。



【旧松長小学校跡地に建つ羽黒山銅像】
陽昇る東の空をきりりと見つめています

先日，新潟県いじめ問題対策連絡協議会が，「いじめをしない！決して見逃さない！」「見て見ぬふりをしない！みんなで声を掛け合う！」を合言葉にして，いじめ防止に全力で取り組むというメッセージを発表しました。また，「ネットいじめの防止」について，子どもたちの「ネットいじめをしない，見逃さない，許さない意識」を醸成することの大切さが強調されていました。

偉大な先人羽黒山に倣い，「土俵ノ外，人ト争ハズ（目標をもち努力すること，人に優しくあること）」を一人一人が実践していくことこそが，「いじめをしない，見逃さない，許さない」学校の実現につながるものと思います。